

# 『発達障害研修』 研修会実施報告

日時 : 令和1年11月16日(土) 9時~16時(15時~ディスカッション)  
対象者 : ラダーⅢレベル  
参加者数 : 49名 (対象者41名、一般8名)  
研修名 : 発達障害研修  
目的 : 発達障害・適応障害についてその特性の理解を深め、  
臨床現場や生活で遭遇する対象者との適切な対応方法を学ぶ。

## <講師の紹介>

白石 邦明

筑波大学名誉教授である宗像恒次博士に師事しカウンセリングの理論と実践を学び、カウンセリングルーム acceptance カウンセラーとして活躍。高確率コーチング・トレーナー、発達障害コンサルタント、米国神経言語プログラミング協会認定 マスタープラクティショナーのライセンスを持ち、スタッフ育成に悩む院内管理者研修やモチベーションアップ、メンタルヘルス対策でも活躍中です。



## <内容>



今回の研修は、発達障害の種類とその特徴、そしてその人たちとの関わり方について、どのような方法があるのかについて学びました。まずはじめに、モラルで行うのではない「あいさつ」が必要であること。そして相手を観察し、「あいさつ」のあとには、必ず一言を添えることが大事であり、そのことにより信頼感や安心感が得られるということ。また承認の大切さから、その効果や効果

果的な成果を得るための方法について学びました。様々な演習を交えながらの研修は、実際の場面で意識化できるものとなり大変有意義な時間となりました。研修後、6グループに分かれ気づきや学びについても情報共有しました。これからの後輩育成の場面や関わりにくい人との場面で活用し、よりよい人間関係づくりに役立てていただきたいと思います。